

気まぐれ通信

2019年(令和元年)9月21日 第112号

発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部

サンフレッチェ広島

森崎浩司アンバサダー来場

9月19日 サンフレッチェ広島の森崎浩司アンバサダーがやってきました。

サッカーファンならご存知と思いますが、ふたごの兄弟で(兄は森崎和幸氏)二人は、サンフレッチェユース(高校生)に入り、ともにJリーガーとなり、活躍されました。

背番号7は、忘れることのできないほどの成績を残して2016年に引退されました。現在は、チームのアンバサダーとして各地に足を運び、一人でも多くのサッカーファンを増やしていこうと地道な努力をされています。

弊社がサンフレッチェ広島とのコラボで応援たまご「タマゴ〜ル」を販売していることで、おいしいたまごの秘訣や販売したいきさつ等を尋ねられました。

アンバサダーもたまごが大好きで筋トレとともに良質なたんぱく源としてたまごを食べているそうです。

【森崎浩司さんのプロフィール】

愛称 コージ 元背番号 7 ポジション MF

生年月日 1981年5月9日

出身 広島県広島市安芸区

所属 サンフレッチェ広島一筋17年間

戦績 J1J2 試合出場 335試合 得点 65

J杯天皇杯試合出場 70試合 得点 16

J1優勝 3回

主な日本代表 U

-18、U-19、U-20

アテネオリンピック

代表



【本の紹介】

まるごとわかるタマゴ読本

5章からなっており、1章日本人はなぜたまごかけごはんが好きなのか?食卓からみた卵、2章生命を育み社会を動かす卵~歴史からみた卵、3章長生きの人們が毎日食べている卵~栄養・健康機能からみた卵、4章七変化する卵~素材性からみた卵、5章未来につなぐ卵食文化~将来性からみた卵

卵の優れた健康・栄養機能性ととも、その優れた素材性について詳しく書かれています。3章では、近年明らかになってきた卵黄コレステロール悪玉説の誤解解消や卵白の栄養・健康機能など最新の研究成果が系統的に盛り込まれています。コレステロール

は生命維持に不可欠なことや、摂取量と血清値の関連にかなりの個人差があること、1日3個分の卵黄を摂取して血清値が下がった人の割合が3分の2に上がった試験結果もあるなど疫学調査からは卵黄コレステロールを悪玉とは説明できないこと、現在でも血清値が高い人は摂取をある程度控えるのが望ましいとされていること、卵を毎日25個ずつ食べ続けて88歳まで元気に過ごした男性の研究事例、世界最高齢だった女性の卵食習慣などを解説、卵に豊富な栄養素や健康機能についても触れています。5章では未来の地球を救うことも可能な卵のポテンシャルの高さとそのための課題、地域として卵の特性を活かして特産品開発を行ったりする際のアイデアやヒント、今後の課題についても書かれています。

A5判、205頁、税抜き定価1800円、農山漁村文化協会発行、著者 渡邊乾二氏(岐阜大学名誉教授)



ハッピーハロウィン
たまご 発売中

